

# 稲作だより

第4号

令和3年5月7日発行  
山形おいしさ際立つ！  
米づくり日本一プロジェクト  
西村山農業技術普及課  
TEL：0237-86-8215

## 【田植えまでの育苗管理】

- ・高温条件は苗の徒長につながるため、育苗ハウスやトンネルの換気を積極的に行い、育苗温度を適切に管理しましょう。→**最適温度：15～20℃ 昼間：25℃以下 夜間：5℃以上**
- ※徒長苗は、田植え後の新根発生が停滞し、活着が遅れやすくなるので注意!!
- ・田植え**1週間前頃**から育苗ハウスやトンネルを開放し、苗を外気に慣らしましょう。

## 【本田初期の管理】

### 1. 田植え

- ・田植えの適期は**5月15日～20日頃**となります。**晩限は5月25日!!**
- ・「つや姫」「雪若丸」を優先して植えましょう。その後「はえぬき」「コシヒカリ」などに移行。
- ・植え痛みを防ぐため、**低温や強風の日は避け**、田植え後に数日間好天が続く時期に植えましょう。
- ・植付け深**3cm**、㎡当たり**100本**を基準に植えましょう。  
→ <目安> 70株植え ⇒ 4～6本/株 , 60株/坪植え ⇒ 5～7本/株
- ※過度な疎植や極端な深植えは、茎数不足になるので避けましょう!!
- ・補植作業は田植え後**1週間以内**に行い、**取置き苗は速やかに処分**しましょう。

### ★コンタミ防止を徹底しましょう!!

- ◎毎年、圃場での品種のコンタミ(異品種の混入)が問題になっています。
- ◎作業者全員で、ハウス内の苗の種類や配置、田植えを行う圃場の品種を確認し、間違いの無いように十分注意しましょう!!

### 2. 水管理

- ・田植え直後は、**4～5cm程度**の水深で活着を促進させましょう。  
→ 風や外気から苗を保護することで、苗の消耗を防ぎ、新根の発生を促進!!
- ・活着後は、**2～3cmの浅水管理**とし、分げつの発生を促進させましょう。  
※4cm以上の深水管理は初期茎数が不足しやすいので注意!!
- ・日中止水・夜間かんがいの保温的管理を行い、分げつの発生を促進させましょう。

### 3. 除草剤の施用

- ・散布時の水深は、粒剤、フロアブル剤：**3~5cm**、ジャンボ剤、豆つぶ剤：**5~6cm**としましょう。  
※ジャンボ剤・豆つぶ剤は、水中での拡散を促進する必要があるため、必ず水深 5cm 以上に!!
- ・田面が露出すると、除草剤の拡散が不十分となり、除草効果が劣ります。  
→ **散布後 7 日間**は止水し、田面の露出を防ぎましょう!!
- ※水が不足したらゆっくり入水して、田面を露出させないように管理しましょう。
- ・圃場を均平にすることで、水持ちがよく、田面が露出しにくい圃場となります。  
→ **代かきをゆっくり丁寧**に行い圃場の均平に努めましょう!!
- ・漏水しやすい畦畔は補修等を行い、漏水を防ぎましょう。
- ・雑草の葉齢はイネよりも進みやすいため、除草剤の散布が遅れると残草が多くなります。  
→ 雑草の発生状況を確認し、**登録の範囲内で早めに散布**を行いましょう!!

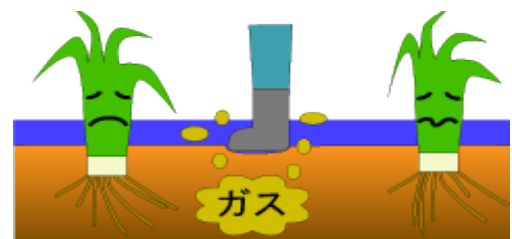
#### ★育苗箱施用薬剤と除草剤の誤使用に注意!!

- ◎ 育苗箱施用薬剤や除草剤は、ラベルをよく確認し、間違いの無いように使用しましょう。
- ◎ 育苗箱施用薬剤と間違えて除草剤(1キログラム粒剤)を苗に使用した場合は、植付けを中止し、普及課、JA等に御連絡ください。

### 【土壌の異常還元対策】

- ・田植後～分けつ初期まではイネの生育量が小さく、高温や**土壌の異常還元(ワキ)**の影響を受けやすいです。  
→ 根の活力が低下し、葉が黄化して初期生育が停滞
- ・晴天・高温が数日続く場合は、2~3日おきに、用水の入替えを行い、根に酸素を供給しましょう。
- ・ワキの発生がみられたら、水交換、夜間落水、田干し(1~2日程度の落水)を行い、ワキの軽減に努めましょう。
- ・初期生育を確保するためには、ワキが発生しないよう早めの対策が重要です。  
→ **一発処理除草剤の散布前に田干し(1~2日程度落水)**を行い、ワキの発生を防ぎましょう!!

#### 土壌の異常還元(ワキ)



### 春季農作業事故防止運動強化期間(4/10~6/10)

- ◎ 春作業等におけるトラクターの転落・転倒事故を防止しましょう!
- ◎ 農薬は、ラベルをよく読んで適正に使用しましょう!